## 平成２８年度小地域懇談会を開催しました

今年度の福米東地区小地域懇談会は、前地２区と山地１・３区の自治会で開催されました。２箇所とも、ＤＶＤ視聴後、気付いたこと感じたことなどを話しあっていただきました。

残念だったのは、開催予定だった山地２区自治会は大雪のため急遽中止なり、来年度行うということになってしまいました。皆様のご参加をお待ちしています。

### 前地２区　人権教育小地域懇談会

「小地域懇談会を開催して」　　前地２区自治会長　********

11 月 26 日(土)前地公民館に於いて、自治会員を中心に参加者 26 名にて午後７時より行われた。40 分のＤＶＤを視聴後２班に分かれて高齢化に伴う問題や人権問題等について討議を行った。

・地域の中に溶け込みたいが思うようにコミュニケーションが取れない。
・人権とは特別なものではなく権利を主張しすぎては趣旨が変わってくるのでは。
・プライバシーの問題が壁。
　等々の意見が出た。
　地域に暮らす私たちは、人権が尊重され安心して暮らせるよう相互支援を進め、より良い町づくりを目指していこうと思った。

### 山地１区・３区　人権同和教育小地域懇談会

「懇談会に参加して」　　山地１区　********

１月２９日(日)福米東コミュニティセンターに於いて、２地区の方の出席を得て午後２時よりＤＶＤを視聴した後、この事について感想を述べ合いました。

ＤＶＤは仕事人間であった定年前の一人の男性が、妻の急死により、家庭のことから始まり近所との係わり合いのなさの空しさを感じつつ、近所との関わりを深め積極的に物事に参加していく話であったと思います。

２つのグループに分かれ感想を述べ合いました。

米子市から人権施策基本方針として８つの推進プランを説明され人権の問題が生じる場面は多様であることを話されました。

私が小地域懇談会に出席して率直に感じたことは、会報等で自治会長が懇談会があるので多数の参加を呼び掛けられたが、参加者が少なかったことです。

地域には、人権問題に関心のある方はあると思います。

山地１区の場合、福米東コミュニティセンターは遠く感じられたのではないでしょうか、地区の集会所が近くでありなじみがあると思います。

人権が尊重され、安心で安全な地域を目指すには、お互いの顔を知ることが大切であると思います。

## 福米東小学校児童の皆さんの作品

### 福米東小学校　人権標語

四年一組
『ありがとう　さみしいときも　いてくれて』
********

四年二組
『あいさつは　やればやるほど　笑顔だね』
********

四年三組
『名前をね　変えてよぶのは　やめようよ』
********

五年一組
『迷わずに　差し出すその手は　あったかい』
********

五年二組
『ありがとう　まほうの言葉で　笑顔咲く』
********

五年三組
『ありがとう　すごいね　すてき　言葉広がる
笑顔の輪』
********

六年一組
『「だいじょうぶ?」その一言で　がんばれる』
********

六年二組
『一つの行動　だれかのためにしたのなら
きっとあなたは変わるはず』
********

六年三組
『「それはだめ。」気付いてぬこう　差別の芽』
********

### 人権作文

ありがとうっていいな

一年　********

わたしは、「ありがとう」のことばが、だいすきです。「ありがとう」をきくと、うれしいきもちになるからです。

べんきょうをおしえてあげて、
「ありがとう。」
けしごむがおちたときに、ひろってあげて、
「ありがとう。」
いっしょにあそぼうといったら、
「ありがとう。」

また、いいことしたくなります。「ありがとう」があると、うれしいし、たのしくなります。

〇〇さんが、おてがみをかいてくれることがあります。「ありがとう」とかいてあることがおおくて、とってもうれしいです。そんなてがみが、せかいで一ばんうれしいです。

「ありがとう」って、ほんとうにすてき。わたしもたくさんいいたいです。